

令和 7 年 4 月 22 日
林 野 庁
近畿中国森林管理局
岡山森林管理署

令和 7 年度 岡山森林管理署 重点取組事項の公表について

岡山森林管理署は岡山県一円を管轄しており、県内に所在する約 3 万 2 千 ha の国有林野と約 4 千 ha の官行造林地を管理経営しています。

岡山森林管理署では、令和 7 年度も公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用し、森林・林業施策全体の推進に貢献する取組を進めます。

このたび、令和 7 年度の重点取組事項を取りまとめましたので公表します。



【問い合わせ先】
林野庁近畿中国森林管理局
岡山森林管理署
担当者：山崎、前田
電 話：050-3160-6135



【列状間伐実施後の森林】



【素材生産事業の実行】



【天然力を活用した森林づくり】

令和7年度 岡山森林管理署 重点取組事項



【シカ被害対策現地検討会の開催】



【操山（みさおやま）自然休養林】



【木製残存型桝を使用した治山えん堤】



林野庁 近畿中国森林管理局 岡山森林管理署

令和7年度 岡山森林管理署 重点取組事項について

岡山森林管理署は岡山県一円を管轄しており、県内に所在する約3万2千haの国有林野と約4千haの官行造林地を管理経営しています。

岡山森林管理署では、令和7年度も公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用し、森林・林業施策全体の推進に貢献する取組を進めます。

目 次

- | | | |
|---|---------------|-----|
| 1 | 森林・林業施策推進への貢献 | P1～ |
| 2 | 公益重視の管理経営 | P5～ |
| 3 | 民国連携及び民有林支援 | P6～ |

1 森林・林業施策推進への貢献

頻発化・激甚化する自然災害の早期復旧に取り組み、地域の安全・安心を確保します。また、イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の実現に向け、再造林の低コスト化等に取り組み、その成果を民有林へ普及します。

被災箇所の早期復旧

被災箇所の早期復旧に向けたデジタル技術の活用

被災箇所の早期復旧を図るため、UAV（ドローン）による空中写真撮影を実施し、DEM（数値標高モデル）、オルソ画像、工事図面等の一連の資料等を迅速に作成します。また、3次元測量データによる出来形管理やウェアラブルカメラを活用した遠隔臨場、発・受注者間の情報共有システム等の導入により、効率的かつ円滑に事業を実行します。

被災箇所の現地測量等にUAVを活用すれば、国有林と民地との境界が入り組んだ箇所等について、境界データと写真データを重ね合わせた資料を作成でき、可視化的に地権者との調整が可能になります。

災害申請においても、UAVで撮影した空中写真を活用すれば、概略設計（平面図、縦断図、横断図等の作成）までの作業が可能なので、申請書類を迅速に揃えることができます。



【UAVによる調査】



【被災箇所全体のオルソ画像】

低コスト林業実現への貢献

下刈りの省略・効率化の取組

画一的な下刈りを見直し、植栽木と雑草木の競合状態を見極めながら、可能な限り下刈りを省略します。また、下刈りの実施方法についても、現地の状況に応じて全刈りから筋刈りへ移行するとともに、労働負担軽減及び安全性確保の観点から、冬下刈りの試行に取り組みます。今年度は、管内7箇所において、試行的に冬下刈りを実施します（実施時期は10月～1月）。



【冬下刈り作業】



【冬下刈り後の成長量調査】

シカ防護対策

地域の関係者と連携し、協定に基づく捕獲、造林木保護のための防護柵等の設置、小林式誘引捕獲法の民有林への普及などに取り組みます。

シカ被害対策に必要な防護柵等については、効果的かつ低コストの資材を活用することにより、設置費用の削減に取り組みます。



【立木を活用した防護柵】

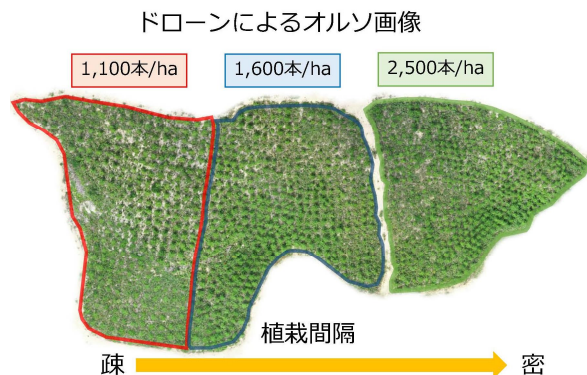
低コスト林業実現への貢献

低密度植栽の検証

低密度植栽箇所の成長量調査等に引き続き取り組むとともに、本格的な導入の可能性についても検証します。



【低密度植栽試験地】
加茂山(かもやま)国有林



収穫調査の効率化

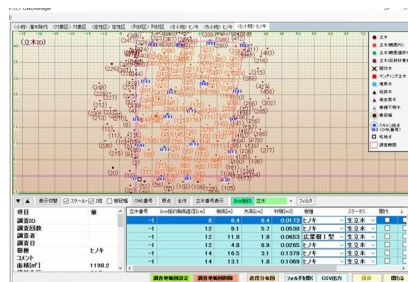
最新のデジタル技術を活用し、収穫調査の効率化に取り組みます。

製品生産及び存置型間伐における収穫調査では、標準地調査を基本とするなど、既に効率化を図っていますが、さらに効率を高めるため、スキャナ（3次元レーザ測量）を活用した収穫調査にも取り組みます。また、スキャナの操作方法を学ぶ現地研修会の開催等により、職員の操作技術の習得・向上に努めます。

林地保全に配慮した森林施業を推進するため、収穫調査時にはC S 立体図等を活用した危険箇所の確認を試行的に実施します。



【3次元レーザ測量による収穫調査】



【パソコン画面上での面積計測】

伐採と造林の一貫作業システムの推進

伐採（皆伐）から造林（植栽）までの作業を一括発注する「一貫作業システム」により、高性能林業機械を活用した枝条等の整理、通年植栽が可能なコンテナ苗の運搬等、皆伐・搬出・植栽の一連の作業を連続して行うことにより、トータルコストの削減を目指します。

今年度は、35伐区、43haで実施します。



【ウインチによる集材】



【専用器具によるコンテナ苗の植栽】



【造林地の残材の搬出】



【林地残材搬出後の皆伐地】

低コスト林業実現への貢献

生産性向上の取組

木材（丸太）生産事業の作業システムを最適化し、生産性の向上と生産コストの縮減を図るため、局と連携してボトルネックとなる工程を明らかにし、より良い作業システムとなるよう請負事業体を支援する取組を進めます。

このため、限定的に対応してきた請負事業体の日報管理の取組を拡大します。



【高性能林業機械を組み合わせた作業】



【請負事業体へのアプリの説明】

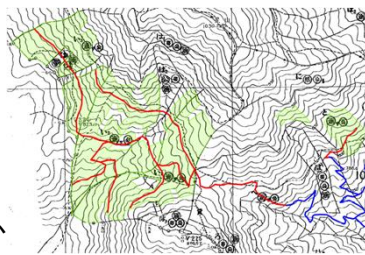
FRD（路網設計支援ソフト）の活用

路網設計・管理業務を効率化・省力化するため、FRD（路網設計支援ソフト）を積極的に活用します。

FRDの使用により、航空レーザ計測で得られた精緻な地形データ等を活用し、林道や森林作業道などの路網の線形案を柔軟に設計することが可能です。

また、幅員やコストなど様々なパラメータを設計時に調整することにより、崩れにくく、低コストな線形案を効率的に設計することが可能です。

さらに、現地踏査回数的大幅削減が可能になるほか、線形案の妥当性を検証したり、コスト・リスクの評価なども容易になります。



【FRDによる線形案】

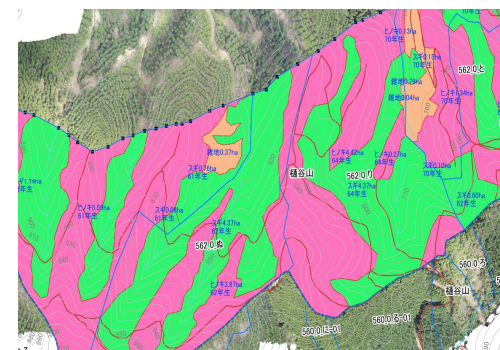
UAV（ドローン）の活用

UAV（ドローン）で撮影した空中写真をオルソ化し、収穫調査の踏査や樹種界の判別、平均樹高の算出等に活用することにより、林分状況を迅速に把握し、業務の効率化を図ります。

また、事業地の検査、防護柵の点検、治山施設の点検、森林調査簿の修正等にもUAVを積極的に活用します。



【UAV画像のオルソ化】



【QGISによる樹種界の表示】



上層木の樹高と本数から平均樹高を算出

木材の安定供給と事業体の育成・支援

木材の安定供給の推進

公益重視の管理経営を一層推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的・計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献します。



【森林作業道の作設】



【フォワーダによる搬出】



【システム販売材の積込み】



【有利採材研修会の開催】

樹木採取区での計画的な事業実施

新見市に所在する用郷山（ようごうやま）国有林ほかに指定した「近畿中国 1 新見樹木採取区」（区域面積：251ha）について、令和 4 年 3 月に株式会社戸川木材に権利存続期間 9 年の樹木採取権を設定し、令和 4 年度より事業が開始されました。

今年度は 3 伐区、15ha の伐採（皆伐）と植栽を実施します。



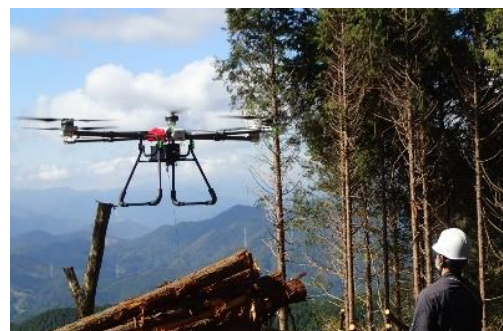
【実施契約の締結式】



【プロセッサによる造材】



【移動式チップパーによる燃料用チップの製造】



【UAVによる苗木の運搬】

2 公益重視の管理経営

公益重視の管理経営を一層推進するため、5つの機能類型区分に基づき、流域の自然的特性等を踏まえ、公益的機能の維持・増進に向け、多様で健全な森林づくりを推進します。

森林整備の着実な実施

間伐等の森林整備の推進

水源涵養等の公益的機能の維持増進や地球温暖化対策としての森林吸収量の確保のため、間伐等の森林整備を積極的に実施します。

また、森林の適切な整備や保全、林産物の供給等を効率的に行うため、投資効率や自然環境、景観等にも十分配慮しながら、林業専用道と森林作業道を適切に組み合わせた路網整備を推進します。



【列状間伐】



【帯状複層伐】



【林業専用道の新設】



【トラックによる材の運搬】

スギ人工林の伐採・植替えの加速化

花粉発生源対策を推進するため、県が設定する「スギ人工林伐採重点区域」に準ずる国有林における計画的な伐採・植替えに取り組みます。

また、植替えに当たっては、少花粉のスギ・ヒノキの苗木を使用します。



【スギ人工林の皆伐】



【少花粉苗木の植栽】



【少花粉のスギコンテナ苗】



【少花粉のヒノキコンテナ苗】

3 民国連携及び民有林支援

戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させることが重要です。このため、国有林が有する技術やフィールドを活用して民有林関係者を支援します。

民有林との連携・市町村への技術的支援

市町村支援等に関する情報発信

市町村が抱える地域課題や国有林への要望に合わせ、市町村行政の効果的な支援に取り組みます。

市町村の要望に応じてフォレスター（森林総合監理士）資格を有する職員を派遣するなど、市町村支援の充実強化に努めます。

また、林業大学校等の現地実習の受入れを行うなど引き続き支援に取り組みます。



【市町村職員への調査データの説明】



【財産区研修会への講師派遣】



【にちなん中国山地林業アカデミーの現地実習】



令和7年度における現地検討会

現地検討会の開催等

市町村の林務担当者のスキルアップや林業事業体の育成に向け、国有林のフィールドを活用した現地検討会を9月頃に開催します。

また、低コスト造林、伐採（皆伐）から造林（植栽）までの一貫作業システム、獣害対策等に関する技術の普及を図るため、要請に応じて研修を実施します。

現地検討会の開催（予定）

テーマ：省力・低コスト造林技術

開催時期：令和7年9月頃

開催場所：岡山市内（加茂山国有林ほか）

参集範囲：地方自治体、林業事業体等の職員

検討内容：エリートツリーと低密度植栽を組み合わせた再造林コストの低減

（参考）令和6年度の現地検討会の様子

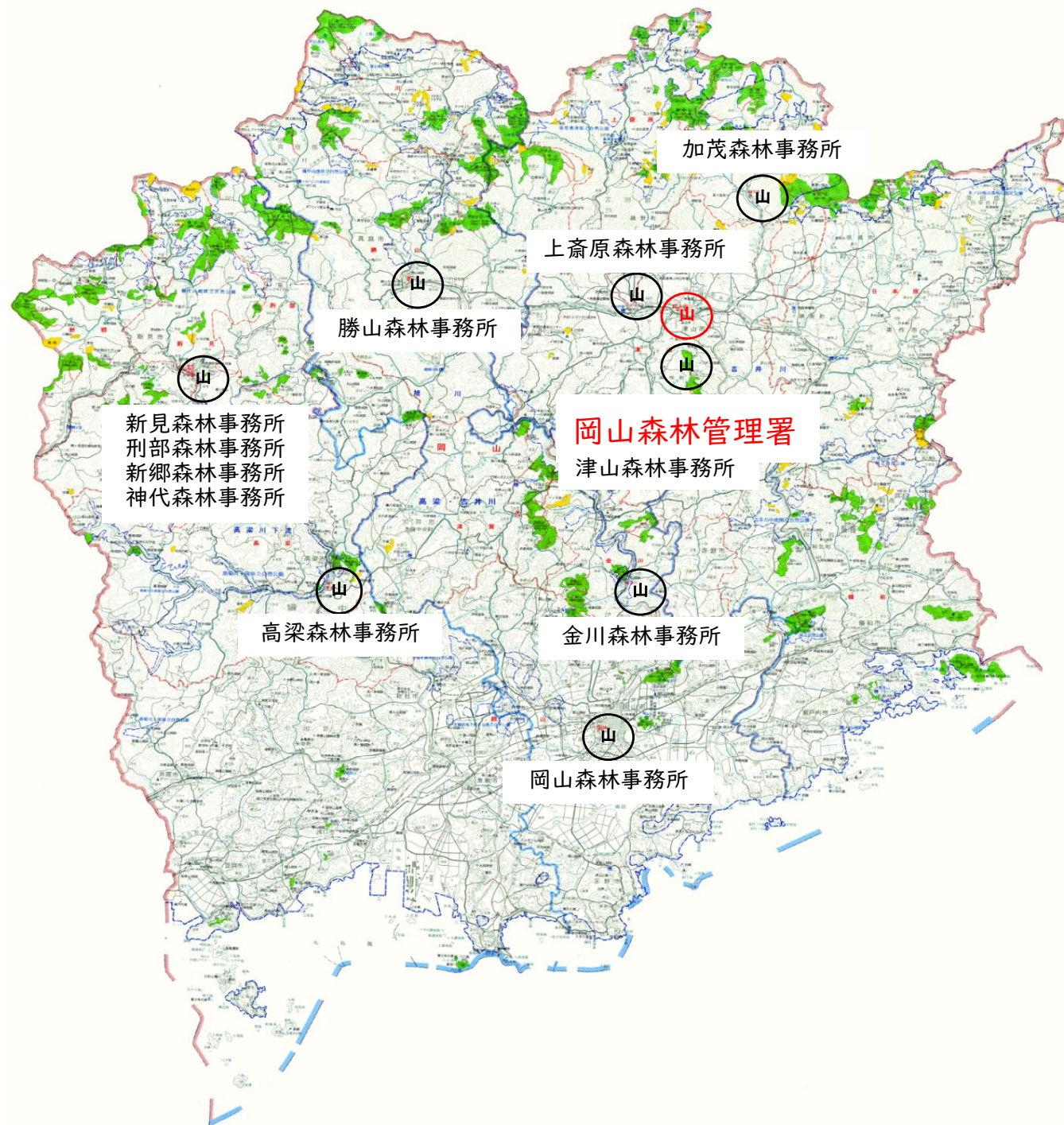


【小林式誘引捕獲法の実演】



【UAVによる森林調査の説明】

岡山森林管理署管轄区域



凡 例	
	森林管理署
	森林事務所
	森林管理署等界
文 字	森林管理署等名
	地域森林計画区界
文 字	地域森林計画区名
	国 有 林
	官 行 造 林 地

主要事業量内訳

区分	項目	令和 7 年度主要事業量 (年度当初予定)	単位
収穫	主伐	7 0 . 3	千m ³
	間伐	2 7 . 4	千m ³
販売	立木販売	3 5 . 5	千m ³
	製品販売	2 7 . 1	千m ³
	樹木採取権	6 . 9	千m ³
造林	地拵え	4 8 . 1	ha
	植付	8 4 . 8	ha
	下刈り	8 7 . 8	ha
	つる切・除伐等	1 9 . 7	ha
	保育間伐（活用型・存置型）	5 7 . 1	ha
	保育間伐（本数調整伐）	1 2 . 3	ha
林道	林道新設	7 7 0	m
	改良	—	m
治山事業	国有林直轄治山	1 3 9 . 6	百万円
	民有林直轄治山	—	百万円

- ①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。
- ②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。
- ③林道には、林業専用道を含みます。（林業専用道規格の森林作業道新設を含む。）
- ④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

【問い合わせ先】

MAFF
農林水産省
林野庁
近畿中国森林管理局



岡山森林管理署
岡山県津山市小田中 2 2 8 – 1
TEL : 0 5 0 - 3 1 6 0 - 6 1 3 5